

施設カルテの説明

○ 全体構成

- ・カルテの作成単位 1 施設ごと
- ・ページ構成 A 4 版 2 ページ（表裏）
- ・データ年度 令和 5 年度末
- ・カルテ作成年度 令和 7 年度
- ・表面の構成

[illegible]

- 1 基本情報
- 2 運営情報
- 3 公共施設等総合管理指針による分類
- 4 利用情報

- ## ・裏面の構成

[illegible]

- 5 建物情報
- 6 収支情報
- 7 情報分析

○ 表面の説明

1 基本情報

1 基本情報			
施設NO.	11053	施設名	
所在地	能生1941-2		
全体面積(㎡)	3,267.50		
市有面積(㎡)	3,267.50		
借地面積(㎡)	0.00		
主要建物	構造	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造	外観
	階数	4	
	建築年(西暦)	1975	
	法定耐用年数(年)	50	
	経過年数(年)	49	
	差引年数	1	
延床面積(㎡)の合計		2,872.94	建物

土地に関する情報

主要な建物に関する情報

- ・市有面積 土地の面積は、登記簿面積を基本としている。
- ・建築年（西暦） 主となる建物の建築年である。
改築の場合の建築年は変わらない。
- ・法定耐用年数 市の資産台帳に登録した、法定耐用年数。
- ・差引年数 目安として表示している。
老朽度を直接示す数字ではない。

2 運営情報

2 運営情報			
設置目的	市民の生涯学習の振興に資するため（糸魚川市生涯学習センター条例）		
所管課	生涯学習課		
管理形態	直営（直接管理）	指定管理者名	—

- ・管理形態
 - 直営 : 市職員が直接管理運営しているもの
 - 直営（業務委託） : 運営等を委託しているもの
 - 指定管理 : 議会議決を経て、管理運営を民間に委任しているもの

3 公共施設等総合管理指針による分類

3 公共施設等総合管理指針による分類			
中分類	集会施設	利用者エリア	地域
小分類	集会施設	（具体的なエリア名）	能生地域
財産区分	行政財産	利用者エリア人口(人)	7,797

分類は、総務省が例示する分類を参考とし、当市の分類を設定している。

4 利用情報

4 利用情報							
	区分・単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		実績	前年比(%)	実績	前年比(%)	実績	前年比(%)
利用 者	年間利用人数(人)a	13,570	140.6%	14,860	109.5%	13,059	87.9%
	年間運営日数(日)b	359	100.0%	359	100.0%	359	100.0%
	うち利用日数(日)	359	100.0%	359	100.0%	359	100.0%
	1日あたり利用者数(人)a/b	37.8	140.5%	41.4	109.5%	36.4	87.9%

年間利用人数の推移(単位:人)

年度	年間利用人数(人)
令和3年度	13,570
令和4年度	14,860
令和5年度	13,059

1日あたりの利用者数の比較(単位:人)

年度	能生生涯学習センター	平均値
令和3年度	37.8	10.0
令和4年度	41.4	10.0
令和5年度	36.4	10.0

平均値：同分類施設における1日あたり利用者数の平均

- ・ 1日あたり利用者数(人)a/b 運営日1日あたりの利用者としている。
- ・ グラフの縦の単位 同分類の他施設と比較しやすくするため、分類単位で表示を統一している。
- ・ グラフの平均値 分類単位で比較するため同分類の平均値である。

○ 裏面の説明

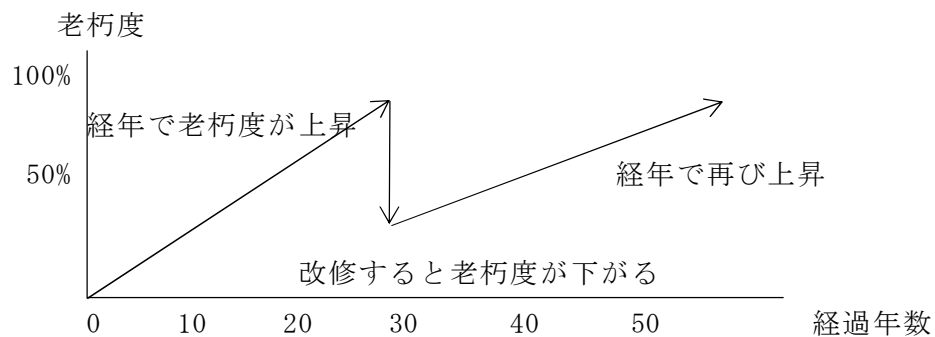
5 建物情報

5 建物情報			
耐震基準	旧基準	スロープ	対応済
耐震改修	実施済	手摺	対応済
耐震診断	実施済	身障者用トイレ	対応済
法定点検	対象	オストメイト対応トイレ	対応済
耐震化状況	新基準又は対応済	バリアフリー対応状況	対応済
老朽化率(%)	91.0% (老朽化率 = 減価償却累計額 / 土地を除いた有形固定資産の取得価格)		

分析や評価に反映しないが、一般的な情報として簡潔に記載している。

- ・ 老朽化率 施設ごとに条件が異なるため、正確な老朽度は算出できない。
しかしながら、分析や評価には目安となる数値が必要であるため、総務省が示す老朽化率により算出した参考数値である。

- ・ 老朽化率の例示 老朽化率 10.0% : 新しい施設
老朽化率 90.0% : 老朽化が進んでいる施設



6 収支情報

6 収支情報							
	区分・単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		実績(千円)	前年比	実績(千円)	前年比	実績(千円)	前年比
収入	国県支出金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	料金	181	85.4%	213	117.7%	279	131.0%
	その他の経常的収入	374	64.9%	477	127.5%	410	86.0%
	収入 合計 A	555	70.4%	690	124.3%	689	99.9%
支出	人件費 ※実働時間から試算した数値	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	需用費(光熱水費、修繕費等)	4,371	106.3%	5,357	122.6%	6,005	112.1%
	役務費(通信料、広告料、保険料等)	95	99.0%	93	97.9%	102	109.7%
	委託料(指定管理料以外)	4,060	106.3%	4,080	100.5%	4,421	108.4%
	委託料(指定管理料)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	使用料及び賃借料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他の経常的経費	151	82.5%	151	100.0%	151	100.0%
	支出 合計 B	8,677	99.8%	9,681	111.6%	10,679	110.3%
支出－収入(一般財源)B-A		8,122	102.8%	8,991	110.7%	9,990	111.1%
経費に占める収入の割合A/B		0.1	100.0%	0.1	100.0%	0.1	100.0%
1㎡あたりの維持管理費 B/延床面積		3.0	100.0%	3.4	113.3%	3.7	108.8%
1㎡あたりの市負担額 (B-A)/延床面積		2.8	100.0%	3.1	110.7%	3.5	112.9%

経常的な収支について記載しており、一般的にどのくらいの管理経費が必要なのか比較できるよう記載した。

大規模修繕などの臨時的な支出は記載していない。

・収入の「料金」 施設の使用料である。
指定管理の施設は、指定管理者が収支を管理できる制度であり、本カルテに記載しない場合がある。

・1㎡あたりの・・・ 建物が中心の施設は、1㎡あたりの額を記載している。
公園やグラウンド類は、1haあたりの額としている。

7 情報分析

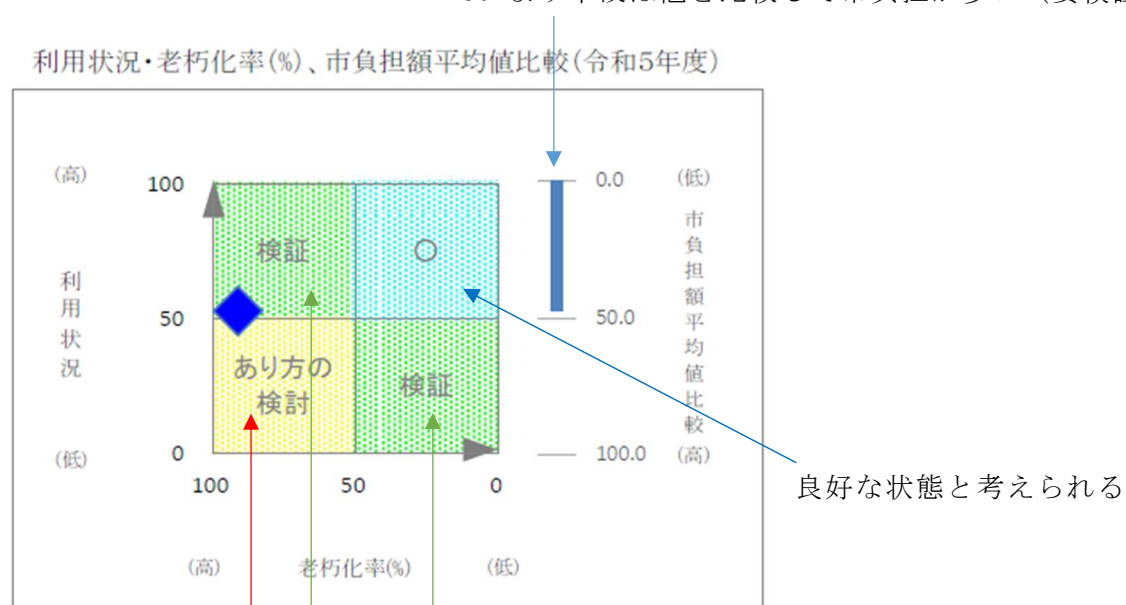
カルテの情報を分析しやすくするため、マトリクスで視覚化した。

- ・老朽化率 「5 建物情報」の老朽化率である。
- ・利用状況 施設ごとに条件が異なるため、比較が難しい。
よって、目安として、利用日数や1日当たりの利用者数を基にして算出した複数の数値を平均するなど、複数の数値を利用している。
特徴に合わせ、分類ごとに同じ方法で算出している。

必要な市負担額について、同じ分類で比較する「偏差値」である。

50 より上段は他と比較して市負担が少なく、

50 より下段は他と比較して市負担が多い（要検証）



施設は新しいが、利用が少ないため、検証を行う。

老朽が進行中であるものの、利用が多い。

今後の修繕計画等について、検証を行う。

老朽化が進み、他の施設と比べて利用が少ない。

あり方の検討を要する。

上記の例は、市負担額も他の施設と比べて高くなっている。

また、老朽化が特に進んでいて、利用状況が他の施設よりも少ないことから「あり方を検証すべき施設」と言える。